

今日のトピック 堅調さを維持する豪州経済（2018年9月）

雇用の持ち直しから、順調な成長が続く見通し

ポイント1 増加の勢いを取り戻した雇用 企業部門は非資源セクターが堅調

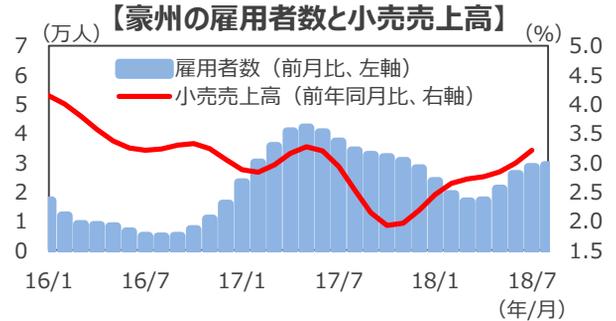
- 2018年8月の雇用者数は、短期の変動を均したトレンド値で見て前月比2.9万人増となりました。雇用の伸びは3月の同1.7万人増を当面の底に、再び勢いを強めています。雇用の増加に伴い、消費の伸びも徐々に持ち直してきました。
- 企業部門では、非資源セクターが堅調に推移する一方、商品市況の持ち直しにより鉱業セクターの業況も最悪期を脱したもようです。豪州経済は今後も緩やかに拡大を続ける見通しです。

ポイント2 金融政策は中立を維持 依然として物価は緩やかな上昇

- 豪州準備銀行（RBA）は、9月4日に開催した金融政策決定会合で、政策金利を1.50%に据え置きました。
- 足元の景気は堅調さを増してきましたが、18年の消費者物価上昇は、引き続き緩やかと予想されます。政策金利は当面、据え置かれる見通しです。

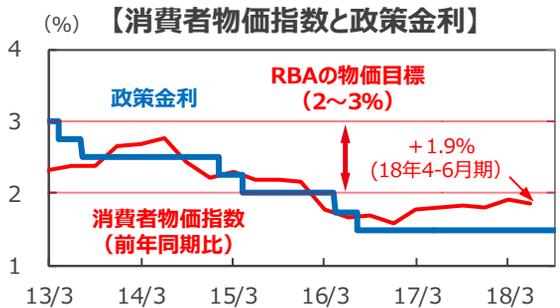
今後の展開 国内要因が豪ドルの支えに

- 新興国通貨の下落や米中貿易摩擦の激化懸念を受け、リスク回避の動きが強まったため、豪ドルの対円相場は80円近傍での不安定な動きとなっています。
- 短期的には、米中貿易摩擦等の海外要因が豪ドルの重石となる公算はありますが、良好な豪州経済等の国内要因が支えとなる見込みです。



(注) データは2016年1月～2018年8月。ただし、小売売上高の直近は2018年7月。

(出所) Datastreamのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成



(注1) 消費者物価指数は2013年1-3月期～2018年4-6月期。消費者物価指数はトリム平均値。

(注2) 政策金利は2013年3月31日～2018年9月19日。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成



(注1) データは2015年1月2日～2018年9月18日。

(注2) 金利差は豪州-日本。金利はともに3年国債利回り。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ここもチェック! 2018年9月 6日 市場予想を上回った豪州の4-6月期GDP成長率（2018年9月）
2018年8月24日 堅調に推移する豪州経済（2018年8月）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。